

献呈のことば

学長 谷 岡 一 郎

今年度、退職される先生方は、(五十音順で) 桑島紳二先生、高橋美貴先生、初谷勇先生、松尾俊彦先生の四名です。昨年に続きコロナ・ウイルスで授業も他の活動も不自由な中、これら四名の先生方にはいろいろな面でご尽力いただきました。いつもの年のように退官の先生方に来ていただいて、これまでの御努力を労う会合を持つことができませんでした。この大阪商業大学論集で献呈のことばを送ることが、せめてもの慰めとご容赦下さい。

桑島先生は、本校における比較的短期間(4年間)のキャリアにも拘わりませず、その存在感は大きなものがありました。何となく親分肌のムードがあったからでしょうか。特に芸術に詳しく、地域活性化運動なども、アートやパフォーマンスを中心に展開しておられましたね。拠点のひとつにしておられる淡路島は、5年後10年後が楽しみな地域ですから、先生のご活躍が我々の元に聞こえてくる日は近いものと信じます

高橋美貴先生は30年以上にわたり、大商大で教鞭を取って下さいました。特にご著書『読み書きパソコン』はロングセラーとなり、未だにネット上でも読むことができます。ある面で時代をかなり先取りしていたことが、今になって証明されている結果だと言ってよいでしょう。教育に熱心な方で、学生たちに親しみを持って接しておられたのが印象に残っています。ちなみに私も同期の先生でした。

初谷勇先生は広い分野で多くの著書、論文などを発表なさっておられますので、大商大に来る以前から、名前だけでも知っている先生は少なくなかったと聞いています。大学院や図書館でも責任ある立場をお引受け下さり、そしてご指導いただいたこと、本当にありがとうございました。その温好で謹厳実直な性格は、商大随一と言ってもいいレベルだったと思います。これからご趣味の美術館めぐりや、歴史的遺跡旅行を楽しむ時間がとれそうですか。それはそれで私としては嬉しいのですが、先生にはやはり机に向かった探究の姿が似合っているような気もします。

松尾俊彦先生は交通論や物流論の大家です。広島県ご出身の見た目も性格も親しみやすい先生ですが、研究や学問になると厳しいとの評判も聞いています。それは多くの著書や論文に裏打ちされた、ブレのない知見がそうさせるのだと思います。実は私が関係する統合リゾート(IR)の分野でも、ある会議で松尾先生の名前が登場して驚いたことがあります。国土交通省をはじめ、多くの省庁・役所のアドバイザーや委員を歴任なさっておられるようで、それは今後も続くようですね。

以上四人の当大学の誇る教授が停年を迎えられることは、ひとつの区切りとしてお祝い申し上げることはあるものの、(釈迦に説法ですが) 研究に停年はありません。これからも若手教員のお手本となるような実績を送り続けていただけるものと確信しています。

本号は通算第201号です。過去200冊にも増して、重要な知見を世に送り出す次の100号の新たなスタートとして記念すべき号でもあります。もう一度、四教授のご退官をお祝い、献呈の言葉といたします。

